

平成24年9月25日
新日本製鐵株式会社

490N 級建築構造用圧延鋼材において初めて設計基準強度（F 値）を 345N/mm²まで高めた「ハイパービーム VE®/NSYP®345B」が初採用

新日本製鐵株式会社（社長：宗岡正二）は、490N 級鋼として国内で初めて F 値を 345N/mm²まで高め、平成 23 年 7 月に国土交通大臣認定を取得した「ハイパービーム VE®/NSYP®345B」850 トンを、「(仮称)厚木金田物流センター新築工事」において受注致しました。本プロジェクトでは、株式会社フジタ殿の柱鉄筋コンクリート造+梁鉄骨造の FSRPC-B 構法（日本建築センター評定：平成 21 年）として本鋼材を梁に採用することで、今まで以上に経済的かつ高い耐震安全性を確保した設計が可能になりました。

プロジェクト概要

案件名：(仮称)厚木金田物流センター新築工事
建築規模：延床面積 28,905.92m²、地上 3 階建て
施主：三菱商事株式会社
設計：株式会社フジタ 首都圏支社一級建築士事務所
施工：株式会社フジタ 横浜支店
着工：平成 24 年 8 月 23 日

「ハイパービーム VE®/NSYP®345B」は建築構造用圧延鋼材（JIS G3136）SN490B よりも設計基準強度 F 値を 20N/mm²高めて 345N/mm²とした 490N 級のハイパービーム®です。化学成分や機械的性質は SN 鋼と同等で塑性変形性能に優れ、経済性を有するとともに、高い耐震性を確保した構造設計が可能となるなど、世の中のニーズに的確に応えた商品です。



(お問い合わせ先)

新日本製鐵（株） 総務部広報センター

TEL：03-6867-2146

建材開発技術部建築建材技術グループ

TEL：03-6867-6385

以上